

シルバーたいとう センターだより No.130

発行 公益社団法人台東区
シルバー人材センター
編集 総務・広報委員会
台東区小島 1-5-5
電話 3864-3338
FAX 3864-3383
アドレス http://www.sjc.ne.jp/taito/
メール taito@sjc.ne.jp
発行日 平成30年1月1日
発行員数 952人(29年11月末日現在)

献 寿



新年あけましておめでとうございます。
シルバー人材センター会員の皆様には、平成三十年の新春を健やかに迎えのこ
とお慶び申し上げます。

名誉会長
台東区長 服部 征夫

シルバー人材センターは「自主・自立、共働・共助」を設立理念に掲げています。
この理念のもと、会員の皆様がこれまでに蓄積した経験と卓越した技能を地域社会に活かして
いただくため、二丸となつて事業に取り組まれていることに、深く敬意を表するとともに、心より感謝を申
し上げます。

区では、高齢者の誰もが、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちを目指し、様々な施策
や事業を展開しています。
地域社会の活力維持・増進に向けて、特に、高齢者の皆様が、いつまでも健康で、自立した人生を過
ごすことができる仕組みづくりが重要です。

引き続き、社会参加へのきっかけづくりや高齢者の雇用確保を図り、高齢者の皆様が働くことを通
じて、「生きがいづくり」や「生活の充実」に寄与していけるよう支援してまいります。

昨年は、シルバー人材センター設立四十周年という節目を迎え、本年は、次の五十周年に向け更なる
発展を目指すスタートの年にあたります。

今後とも、皆様には豊富な経験とすばらしい技能をご活用いただき、多方面でサービスの担い手と
して地域社会でご活躍されるよう、大いに期待しております。

シルバー人材センターのますますのご発展と会員の皆様のご健勝とご活躍を、祈念申し上げまして、
新年のご挨拶とさせていただきます。



新年明けまして、おめでとうございます。

会員の皆様方には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年は、台東区シルバー人材センター設立四十周年という大きな節目の年で
ございました。多数のご来賓のご臨席のもとで、皆様とともにお祝いの記念式典を盛
大に開催できましたことを大変嬉しく思うとともに、歴史を築いて頂きました会員の皆様はじめ諸先
輩の皆様方に深く感謝を申し上げる次第でございます。

おかげさまで当センターは、会員の皆様や関係各位のご尽力・ご協力により、昨年も契約金額・受託件
数とも前年を上回る実績をあげることができました。「昨年開始いたしました「家事援助サービス」につ
きまして、登録会員が増加し、昨年末の大掃除を中心に実績が順調に増えてきております。

今後とも、地域の多様なニーズに対応できるよう、様々な取り組みを積極的に進めてまいります。

どうぞ会員の皆様や関係各位には、引き続き、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

会員の皆様そしてご家族の皆様方のご健勝と二層のご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせて
いただきます。

会長

野田 沢忠治

新年おめでとうございます

名誉会長	台東区長	会長	副会長	常務理事	事務局長	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	監事	監事	相談役	相談役
服部 征夫	野田 忠治	辻 義興	本間 千晴	佐々木 良子	河野 テル	金子 時雄	中 康雄	鈴木 隆幸	佐藤 枝幸	佐藤 幸廣	吉本 由紀	佐伯 正弘	石森			

題字「献壽」について



この題字は、当センター毛筆筆講師の川合君子さんに揮毫していただきました。川合さんは、毛筆筆耕講師陣の中心的なお一人として、センター事業に種々ご活躍いただいております。「献壽」とは、「相手の健康・長寿を祈り祝うこと」の意味です。

会員の皆様にとって、新しい年が希望に満ちあふれた明るい年でありますようお祈りいたします。

(総務・広報委員会)

理事会だより

第七回理事会(十月二十四日)

審議事項

(1) 新規入会について

報告事項

(1) 定款第二十四条第五項による職務の執行状況について

○平成二十九年度上半期運営状況について

○平成二十九年度上半期事業実績について

○予算実績比較報告について

○平成二十九年度九月分事業実施状況について

(2) 第二ブロック合同会員研修会について

第八回理事会(十一月二十八日)

審議事項

(1) 新規入会について

(2) 理事・監事選考基準について

協議事項

(1) 平成三十一年度定時総会の開催予定について

報告事項

(1) 平成二十九年十月分事業実施状況について

(2) 平成二十九年度第二ブロック安全就業合同会員研修について

(3) 平成三十一年度定時総会開催日の変更について

(4) 十二月理事会(書面決議)について

委員会だより

第四回総務・広報委員会(十一月十六日)

(1) センターだより新年号について

(2) 理事・監事選考基準について

台東区消費生活展に今年も参加

十月十三日(金)、十四日(土)の二日間、台東区役所十階で、今年も台東区消費生活展が開催されました。

当センターも参加し、会員募集や新たな就業先を開拓するため、センター活動等の紹介をしたリーフレットなどを配布し、活動の取り組み等多くの皆さんにPRしました。

会員のボランティア活動として、十三日には「折り紙講座」の皆さんによる折り紙の実演を、十四日には「毛筆筆耕講習会」の皆さんによる実演を行い、センター活動をお知らせしました。



来場された皆さんからは「どうしたら、このように上手できれいな文字が書けるのかしら?」「とても素敵な折り紙が多いですね。私もつくってみたいわ。」などの意見や質問があり「シルバーに入会して、ご一緒にやってみませんか」などに対応し楽しい交流を持つことができました。



寿作品展示会に参加

十月十八日(水)、十九日(木)の二日間、台東区役所十階で、寿作品展示会が開催されました。

この二日間に当センターの事業活動を紹介したリーフレットなどを皆さんに配布して、入会促進や仕事の受注拡大を図るため、PR活動を行いました。

リーフレットを受け取られた多くの皆さんが、「シルバーにはどんな仕事をお願いできるのですか?連絡先は?」などの質問があり、センター事業に強い関心が示されました。

会員募集と発注依頼のチラシを新聞折り込みしました

シルバー財団の広報活動強調月間に合わせて、当センターは会員募集と就業開拓に関するPRチラシを、十月十六日に、新聞折り込みしました。折り込み後の十月・十一月の入会説明会では、例月よりも希望者が多く来られました。また仕事の受注照会についても、通常より多くの問い合わせ件数がありました。

安全就業巡回指導 実施中です!

会員の皆さんが安全に就業していただくため、安全管理委員会(金子委員長)は、上半期(六月～九月)に引き続き、安全管理委員が会員の就業先を訪問して、左表のとおり、安全確認等を行いました。

訪問先では、就業中の休憩修得状況や、緊急時連絡先の掲示・救急箱の配備が整備されているか、などを確認し、就業先への行き帰りの自転車通勤も含めて、安全対策にしっかりと取り組むようお願いしました。

回	実施日	施設名	担当委員
7	十月十日(火)	台東保育園 鶯谷駐輪場	難波委員 姫野推進員
8	十二月十日(金)	植木剪定(元浅草) TX浅草駅南駐輪場	河野委員 姫野推進員

【植木剪定】植木剪定は、就業上、体調管理が求められるため、熱中症等いろいろな点から安全管理を確認しました。剪定作業は、発注者の意



向を確認しながら進めており、作業終了後には「希望どおりにやっていたきました。次もお願いしたい。」との声が多い状況です。

【自転車駐輪場】屋外施設のみならず、屋内施設でも、夏冬の季節にかかわらず就業中の熱中症対策への注意喚起を行いました。また体調管理の面では就業で体を動かすことが健康管理に大きく役立っていると感じている会員もおりました。



【保育園】保育園では、同じ休憩室で用務員との交流により、就業の情報共有ができていたことを確認しました。

清掃作業については、ベテラン会員も多いため、高い位置にある窓のガラス拭き等危険が伴う作業は専門業者が行うなど、センターの請負作業との区分を確認しました。

◎毎月十日は「安全就業の日」です。就業先への往復も含めて、会員相互に声を掛け合い、事故・怪我がないように、常に心掛けましょう。
「安全はすべてに優先する」の気持ちでお願いします。

【平成30年度安全就業の普及・啓発のため標語を募集します】

東京しごと財団では、安全就業の普及・啓発活動の一環として、会員自らが安全就業について考えることで、安全に就業する意識をより一層高め、事故防止に資することを目的として「安全就業標語」を募集します。多くの会員の皆さんからの応募をお待ちしています。

《標語のテーマ》

【テーマ1】『健康の維持管理について』（疲労の蓄積による事故の防止等）

【テーマ2】『各地区の実情に合わせてテーマ設定したもの』（自由テーマ）どちらか一方を選択し、応募してください。

《締め切り》 平成三十年二月二十九日（月）

《応募方法》

官製はがきに、標語のテーマと「安全標語」を書いて郵送してください。

《応募先》

台東区小島1丁目5番5号

台東区シルバー人材センター

《選考》

応募多数の場合は、当センターの総務・広報委員会において選考のうえ、東京しごと財団に推薦します。

《活用方法》

○最優秀作品を用いた啓発ポスターを作成し、各センターに配布

○連合統一安全標語として「シルバーとうきょう」へ掲載

○全シ協機関紙「月刊シルバー人材センター」へ掲載

※これまでの最優秀作品※

年度	
平成29年度	・自覚せよ 自分の体力 身のこなし ・安全は 声掛け 呼び掛け 心掛け
平成28年度	・まず基本 ルール守って 安全就業 ・忘れるな ヒヤリで済んだ あの経験
平成27年度	・危険だと 気付く気持ちが 事故防ぐ ・これでもか 最後に確認 二度三度

【第2ブロック安全就業合同会員研修】 安全自転車講習会

十月七日（火）に、小島社会教育館二階ホールにおいて、二十八人の参加を得て開催。

講師は、日本自転車普及協会の谷田貝二男学芸員。午後二時開会後前半二十分の解説に続き、後半では二十八人を二班に分けて、各班それぞれ四十分ずつシミュレーターによる模擬自転車走行を体験しました。当日の講義概要を報告します。

1. 会員の自転車事故状況

（ア）事故の原因

○交通法規違反36%、○自ら転倒64%

（イ）交通法規違反による事故状況

○事故発生場所↓交差点57%、直線道路23%

○事故の相手↓自動車47%、自転車43%

○違反者は誰か↓会員8%、お互い違反31%、相手57%

○会員の違反は↓交差点で二時停止せず70%、右側通行で右折14%

○相手の自転車の違反は↓前方をよくみていない35%、交差点で二時停止せず24%

○相手の自転車の違反は↓前方をよくみていない39%、交差点で二時停止せず18%

（ウ）運転ミスによる事故が発生した原因

○道路の段差・道路面の凹凸の通行時23%

○自動車・自転車・歩行者とすれ違う時17%

○ハンドル操作・バランス調整ミスのため16%

◎直線道路通行中68%、右左折・方向変更時18%

(エ) 運転操作ミスによる事故での傷害

◎骨折・ひび51%、打撲27%

◎年齢が高くなると↓足の障害は減少、頭の傷害が増える

2. 事故に結びつきやすい乗り方

(ア) スタート時にふらつく理由

※踏み込み時ペダルの位置が低すぎる

(イ) 通行中にふらつく理由

※身体バランスの調整力の低下

※ハンドル位置が高すぎる

※自転車が大きすぎる

3. 利用時の事故防止方法

(ア) 自転車のチェック

◎サドルに座る↓両足のかかどが、地面に着実に着く

◎ハンドルを両手で持ち、手前に30度傾けて、再び戻す。これを2〜3回続けることができる

◎ハンドルを両手で持ち、押しながら8の字を描くよう進む↓これが確実にできる。

↓これらの1項目でもできない時には

※車輪の径が小さい自転車にする

↓重心低くなり、ふらつきにくい

↓足が地面に着きやすい

※軽い自転車にする

↓鉄製をアルミ製にすると、約2kg軽くなる

↓ハンドル操作が楽になる

(イ) 出発時ペダルの位置を高くして、ゆつくりと力強く踏み込む

※電動アシスト付き自転車↓軽くゆつくり踏み込む

※押しながら乗る時↓周囲に歩行者・自転車が行き交っているかを確認

(ウ) 走行時のふらつきチェック

◎交通量の少ない道路を直進してもらう

↓後方から状況を見る

※進行方向が曲がっていないか

※車体がふらついていないか

をチェック

◎両眼を開けて、片足で立つ(立っていられる時間でチェックする)

※5秒以下の場合↓転倒の可能性が「大」

※5秒〜15秒の場合↓走行時のふらつきは「あり」

※15秒以上の場合↓走行時のふらつきは「なし」

(エ) 走行時にふらつきがみられる(感じられる)時には

◎ハンドルとサドルを同時に下げる(ハンドルとサドルの距離は18〜22センチにする)

◎使用中の自転車のインチ数より、小さいインチ数の自転車にする

(オ) 周囲確認、転倒防止・傷害減少のために

◎目線を少し上げて、視野を広げる

◎ヘルメットを着用する

◎前のかごの重量を、後ろのかごの重量より重くする(ふらつき防止)

(カ) 交通法規違反による事故を防ぐ方法

◎一時停止(信号機のない交差点や歩道で前から歩行者・自転車が近づく時)

◎左側通行する

◎交差点から離れた位置で止まる

◎自分の運転能力を過信しない

(キ) 日常の整備点検を行う

◎タイヤ・親指で強めに押してへこまない表面がすり減っていない。

◎ブレーキ・ブレーキが効くまで、レバーの引きがあまり長くない。

左・右ブレーキをかけて、確実に止まることを確認

◎ライトが点灯することを確認

◎年に1回、自転車店で整備点検する



接遇のワンポイント

接遇について、会員の皆様には、入会説明会において接遇マニュアル「あなたの笑顔はみんなの安心」の配布や昨年度から開始した接遇研修の受講等により必要な情報をお伝えしてまいりました。

今号のセンターだよりから、「会員の心得」として必要と思われる情報を連載しますので、おさらいを兼ねて、ご活用いただければ幸いです。まず、第二回のテーマは「個人情報の保護」についてです。

就業の際には、個人情報情報は必ずつきものです。また、私たちの身の周りにおいても個人情報の取り扱いについては、世間の目がとても厳しくなっています。情報の漏洩はどのように発生するのでしょうか。

次の二つの例題を参考に、考えてみてください。

①あるお宅に家事援助に行っていたAさんは、その方の「息子」と名乗る人物から電話を受けて、聞かれるままに「最近の行動パターン、健康状態、趣味、嗜好」など詳細な情報を教えました。後日、その人物は息子とは別人であることが判明しました。

↓家族からの要求であっても、本人以外に情報を話すと「第三者提供」となります。最近はこのような「なりすまし」犯罪が多いの

で、特に慎重な言動が必要です。

②作業の帰りに会員のBさんとCさんが偶然会いました。久しぶりだったので、近況報告をしようと喫茶店に入りました。2人ともその日の作業で出会った駐輪場の利用者に対して不満があったので、お互いに愚痴を言い、ストレスを解消しようということになりました。気づいたら、大声で話していました。

↓これはモラルに反する行為です。業務上知り得た情報は安易に口に出してはいけません。また、不特定多数の人がいる場所では、就業場所から離れていても個人が特定できるような話をしてはいけません。

(公益財団法人東京しごと財団シルバー人材センター接遇マニュアル「あなたの笑顔はみんなの安心」より出典)

台北市から

視察団がきました

十月十九日(木)に、台北市から視察団五名が当センターの作業所などを視察にみえました。台北市では、これから、シルバー人材センターを立ち上げる計画があるとのことでした。

当日、会員の皆様がいっきと活動する様子を見て、「二人ひとりが輝いている」との感想をいただきました。



〈いただいたペナント〉



〈視察風景〉

◎配分金の取り扱いについて◎

平成二十九年中にお支払した配分金の支払調書は、平成三十年二月中旬から事務局より発送する予定です。この配分金支払調書は、税務署に確定申告するとき必要となります。ご自分の所得額を確認のうえ、配分金と合わせた所得に所得税が課税される方など、確定申告が必要な方は所轄の税務署に確定申告をしてください。

所得税の申告につきまして不明な点は、最寄りの税務署にお問い合わせください。

会員のひろば

毛筆筆耕講習会が開かれました

十二月十二日（火）午前十時より「年賀状を書く」、午後一時より「貝原益軒『日千金』を書く」をテーマに毛筆筆耕の講習会が小島社会教育館ホールで開かれました。受講されている会員の皆さんは、真剣に毛筆の技術向上に取り組んでいます。毛筆筆耕講習会に、ご興味のある方は、是非ご参加ください。参加希望の会員の方は、事務局までお問い合わせください。

シルバリーというセンター日より新年号の封筒宛名書きは、毎月の毛筆筆耕講習会で勉強されている会員の方々にお願いしました。



パソコン講座を開催しました

毎月、六十歳以上の区民を対象とするパソコン講座を開催しています。

十二月のテーマは「ファイルや写真のスッキリ整理講座」、「写真を取り込んでアルバムを作成します」でした。

パソコン講座では、毎月、いろいろなテーマを設定していますので、皆さん楽しく学んでいます。興味のある方は、是非ご参加ください。詳しくは、事務局までお問い合わせください。区民の「広報たいとう」をご覧ください。



折り紙塾が開かれました



十二月十九日（火）午前十時より、シルバリー人材センター会議室において会員を対象とする折り紙の講習会が開かれました。

今回のテーマは

「干支（犬）」でした。月に一回、和気あいあいと楽しみながら折り紙の技術を勉強していますので、興味のある方は、是非ご参加ください。参加を希望される会員の方は、事務局までお問い合わせください。



ボランティアに参加しています

区内の特別養護施設や児童館などで、会員グループによる「折り紙講習会」を行っています。クリスマスや干支、お雛様など、毎月、その時々々の季節にあったテーマを設定して、折り紙教室を開催しています。宮澤リーダーを中心に会員の方々がボランティアで参加して、施設利用者の皆さんと一緒に、優しく触れ合いながら折り紙を楽しんでいます。

福寿草の花の独り言

明けましておめでとーございます。

何となく、今年が良いことあるぞとし

元旦の朝晴れて風なし 石川 啄木

入会して、はや二年が過ぎようとしています。健康で働けること、働ける職場があることに感謝している日々です。

皆様、今年の目標をたててみませんか。大げさなものではなく、ささやかなもので良いと思います。例えば一日一喜、夕焼けを見てきれいだなあと感じる「こころ」余裕を持って生活することにより、今まで見えなかったものが見えてくる、そのことによつて小さな事故や失敗が減ってくるのではないのでしょうか。

また、職場にくる道を変えてみたり、買い物に行く順路を変え、歩く距離を少しずつ伸ばしてみてはいかがですか。「塵も積もれば山となる」達成しやすい目標を立て、体調を整えて働くことにより、自分の喜びになり、社会参加につながっていくのではないのでしょうか。

小学生の頃、跳び箱を飛ぶとき、踏みきり板を思い切りけつて、跳び箱を飛んだことはありませんか。親が子供を支えるように、踏みきり板になつて次の人が少しでも前に進めるように、自分で出来ることは行つていただき、ほんの少し私達がお手伝いすることにより、前に進んでいくことができる、支え合いのお手伝いしてみませんか。

本年もよろしくお願い致します。

福寿草の花 別名 元旦草より
花言葉 幸を招く



投稿写真

会員からの投稿作品です。

撮影：石森相談役



寛永寺 開山堂



寛永寺 根本中堂



浅草寺 菊供養会



護国山 天王寺 釈迦如来座像